



# 安全・健康ニュース

第48号  
2018年/6月

府中町1-30市立ふれあい会館1階 / ☎:042-366-2322

## 「転倒に要注意！」

安全副委員長 松井 等

先日、自転車で転倒いたしました。住宅街の狭い路地の曲がり角で軽乗用車との出会い頭でした。安全確認をして曲がったつもりが目の前に急に車が現れ、無意識に前輪のブレーキをかけてしまい、とたんにバランスを崩し植え込みに頭から突っ込んでしまいました。電動自転車でしたので、一人では起き上がれずもがいていたら、女性の方が助け起こしてくれました。情けないやら恥ずかしいやらで惨めな気分になり、それ以来ずっと自己嫌悪に陥っています。

このところ自転車だけではなく、歩いている時の転倒事故も増えているようです。

す。「私だけはまだまだ大丈夫。」というちょっとした気持ちだが、ちょっとした油断を生むようです。高齢になるにつれて、確実に運動神経や反射神経が衰えているという事を、改めて自戒する日々であります。

## 転倒事故が

## 増加傾向へ

平成29年度の東京都シルバー人材センター連合においては、「傷害事故500件以下」の目標を掲げ、安全就業の徹底に取り組んできた

ところですが、発生件数は前年比85件増の581件発生しました。特に注意すべき点としては、就業中に発生した事故の42%は転倒が原因です。

また、就業途上事故も前年比35%増となり、歩行時に起きた事故が倍増、うち半数以上が就業を終えて帰宅する最中に発生しています。

近年、シルバー人材センターでは会員の高齢化が一層加速し、平均年齢は既に73歳を超え、健康管理と体力維持の重要性が高まる一方です。就業前の準備体操、就業時帰宅前の会員同士の声掛け等、安全に就業できるよう一層心がけていきましょう。

